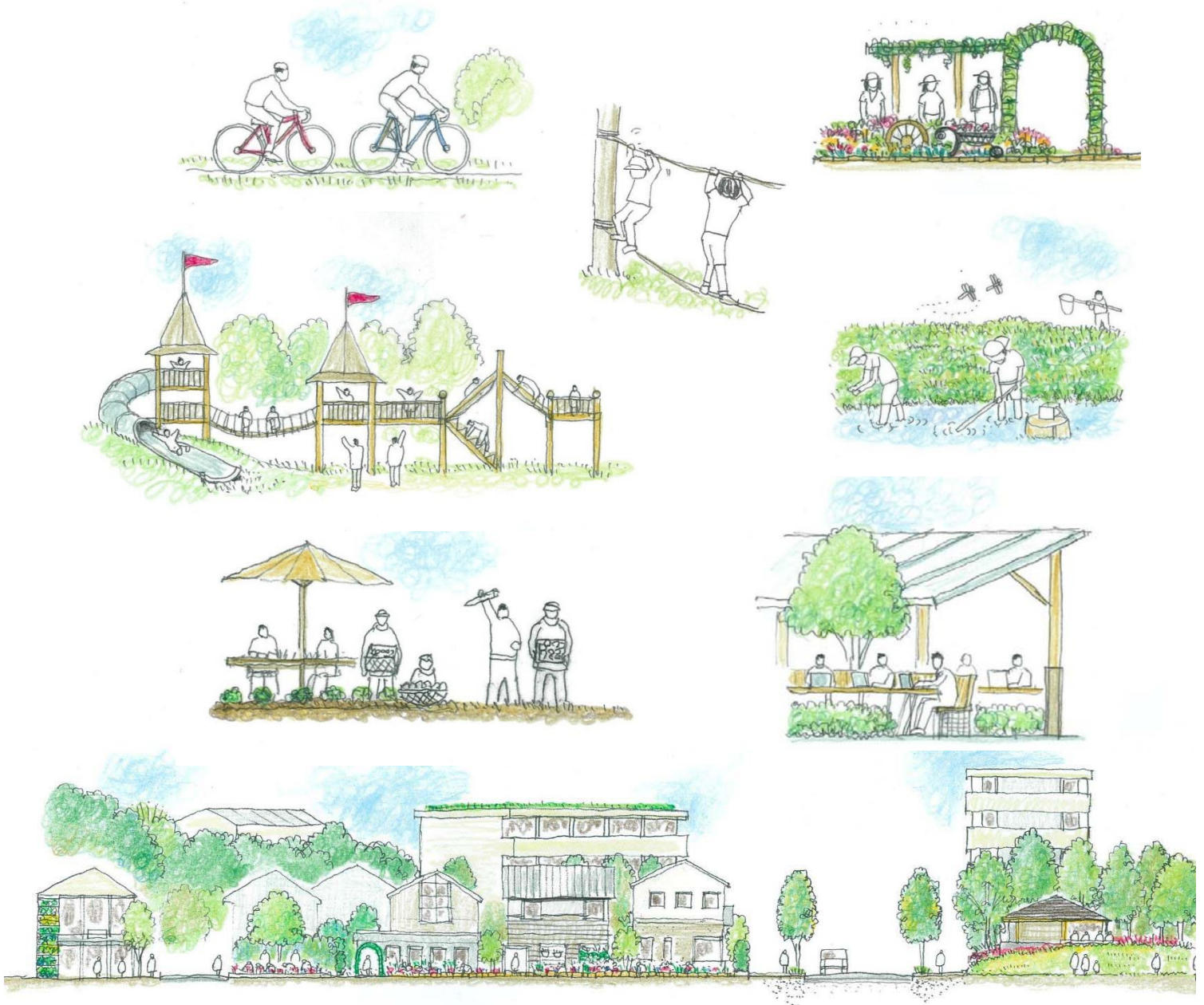


# 第10期松戸市緑推進委員会

## 委員会の答申・提言および活動報告



令和2年6月

松戸市緑推進委員会

令和2年6月29日

松戸市長 本郷谷 健次 様

第10期松戸市緑推進委員会  
会長 柳井 重人

### 第10期松戸市緑推進委員会の答申・提言および活動報告について

第10期松戸市緑推進委員会では、平成30年7月から令和2年6月末までの2年間にわたり、諮問事項および第9期委員会から引き継いだ事項について、慎重かつ前向きに検討を重ねて参りました。

この度、委員会の総意として、下記のとおり答申・提言および活動報告について取りまとめましたので、ここに報告いたします。

### 記

#### 1. 答申・提言の内容

##### (1) 松戸市緑の基本計画の策定について（市長からの諮問事項）

###### ① 基本方針

松戸市緑の条例に基づき、「松戸みどりの市民憲章」を基本理念とし、「みどりと暮らし豊かさを感じられるまちづくり」を視点を議論を行った。

###### ② 答申内容の概要

新たな基本計画の策定にあたっては、特に以下の点について留意されたい。

- ・現存するみどりを守り、暮らしを支えるみどりを築くこと。
- ・みどりの価値の向上や、新たな魅力の創造につながるワンランク上のみどりをつくること。
- ・心身ともに健康で快適な生活は、みどりのあるライフスタイルを楽しむことで、より豊かになること。
- ・戦略的にみどりのシティプロモーションを展開し、本市のみどりの魅力と価値を積極的に市内外に発信すること。
- ・みどりの持つ多様な機能を賢く使い、持続可能なまちづくりに貢献するグリーンインフラの取り組みを推進すること。
- ・策定した計画を机上論で終わらせるのではなく、「みどりと暮らし豊かさを感じられるオンリーワンの松戸市」を実現すること。

##### (2) 「みどりの市民力」について

###### ① 基本方針

花壇活動団体や里やま活動団体などに代表される本市の「みどりの市民力」の課題を整理し、今後の可能性について検討を行った。

###### ② 提言内容の概要

「みどりの市民力」は、基本計画を実現する大きな推進力となることから、「みどりの市民力」による活動の担保性を高めるとともに新たなイノベーションを期待し、「ひと・みどり・まちをつなぐみどりのプラットフォーム」の構築を提案する。

#### 2. 活動報告

「答申・提言」の他、委員会における審議内容、活動の成果は別紙のとおりとする。

以上

第10期松戸市緑推進委員会  
委員会の答申・提言および活動報告

目 次

1. 第10期委員会の活動の方針
2. 第10期委員会の活動の成果
  - 2.1 緑推進委員会における審議
    - 2.1.1 「松戸市みどりの基本計画」の策定について
    - 2.1.2 「みどりの市民力」について
  - 2.2 その他の関連する活動
    - 2.2.1 緑と花のフェスティバルへの参加
    - 2.2.2 みどりの行動会議
    - 2.2.3 松戸花壇づくりネットワークの活動
    - 2.2.4 里やまボランティア入門講座
    - 2.2.5 オープンフォレスト in 松戸の推進・支援
3. 第11期委員会へ引き継ぐ課題
4. 参考資料

## 1. 第10期委員会の活動の方針

第10期委員会では、平成30年7月から令和2年6月末までの2年間にわたり、市長からの諮問事項である「松戸市緑の基本計画」の策定について審議を行った。

審議の内容は大きく以下の2項目である。

- ① 松戸市緑の基本計画の策定について（市長からの諮問事項）
- ② 「みどりの市民力」について（みどりのサロン部会の活動）

まず①については、次の時代の「みどりと暮らす豊かさ」の追求と実現に向け、社会情勢の変化等を踏まえた新たな提案が求められており、第9期緑推進委員会より引き継いだ下記の事項を踏まえて審議を進めた。

- ・ 緑の基本計画における「松戸らしさ」や「キャッチフレーズ」についての議論
- ・ 本市が高く評価されている「みどりの市民力」についての議論
- ・ 街づくりにおける「みどりの役割（＝貢献）」についての議論
- ・ 生活の質の向上につながる「ワンランク上のみどり」についての議論
- ・ 「みどりと暮らす豊かさ」のロジック確立についての議論
- ・ 外から見える松戸市を意識した「みどりのシティプロモーション」についての議論

次に②については、本市の財産である「みどりの市民力」の活動は、新しい緑の基本計画においても重要な位置づけとなることから、活動の現状及び課題等を把握し今後の可能性を検討するために、専門部会「みどりのサロン部会」を設置した。「みどりのサロン部会」での検討内容や成果は、随時委員会に報告し審議を進めていった。



## 2. 第10期委員会の活動の成果

### 2.1 緑推進委員会における審議

現在の松戸市緑の基本計画は、都市緑地法第4条に基づき、本市における緑地の保全や緑化の推進を図ることを目的として平成10年度に策定された計画であり、間もなく目標年次の令和2年が経過するため、新しい緑の基本計画の策定を行うものである。策定にあたっては、松戸市緑の条例により緑推進委員会へ意見を聴くことが定められていることから、市長より第10期緑推進委員会へ「松戸市緑の基本計画」の策定について審議を行う旨、諮問がなされた。

新たな基本計画の策定については、第9期緑推進委員会においても審議されており、第10期緑推進委員会では、第9期委員会の答申内容を踏まえ、計画の目標やテーマ、基本方針や施策等、計画の全体を通して議論を行った。

また、市内外で高い評価を受けている「みどりの市民力」については、多面的に検討を行うため、緑推進委員の有志により専門部会「みどりのサロン部会」を設置し活動を行った。「みどりのサロン部会」では、様々な活動団体へアンケート調査を行うとともに、団体間の交流の機会を設け、意見を聴取し、伺った意見の計画への反映の仕方、「みどりの市民力」の将来イメージを模索した。

(参考) 第9.10期緑推進委員会活動内容

#### 第9期緑推進委員会

- ・平成29年12月、市長より松戸市緑の基本計画の策定について 諮問を受ける。
- ・これまで市が実施してきた緑の施策を検証し成果と課題を洗い出す。
- ・事業の検証作業を踏まえ、次期緑の基本計画の策定に必要な考え方をまとめる。

#### 第10期緑推進委員会

- ・平成30年7月、市長より松戸市緑の基本計画の策定について 諮問を受ける。
- ・緑の基本計画と関連性の高いみどりの現場を視察。
- ・第9期委員会の答申を踏まえ、緑の基本計画の内容について審議。
- ・「みどりの市民力」についての審議。「みどりのサロン部会」を設置し活動。活動団体アンケート調査の実施、活動団体の相互理解・交流を図る「松戸みどりのフォーラム」を開催。

#### 2.1.1 松戸しみどりの基本計画の策定について

##### (1) 計画の基本理念とテーマについて

計画の基本理念やテーマの検討にあたっては、先ずこれまでの緑の基本計画における基本理念である「松戸みどりの市民憲章」について改めて確認した。

「松戸みどりの市民憲章」は、みどりと暮らす豊かさを大切に想う心を育て、市民・企業・行政が一体となって松戸のみどりを育てていくための理念・基本方針・誓いを込めた行動規範として平成16年に制定されたものである。よって都市のあるべき姿をみどりの視点から計画に定めるにあたっては、「松戸みどりの市民憲章」は今でもなお最重要の理念であることから、新たな計画においても「松戸みどりの市民憲章」を基本理念として位置づけることが望ましいと考えた。

また、市民憲章の一つである「みどりと暮らす豊かさ」は、「豊かなみどり」を意味するのではなく「その中で暮らす豊かさ」を重視することに特別に想いがこめられてつくられた成り立ちと、多くの市民と共有したいテーマであることから、「みどりと暮ら

す豊かさ」が本計画のテーマとしてふさわしいと考えた。また、これをテーマとして位置付けるにあたっては、シンプルで印象的なキャッチフレーズにアレンジすることを合わせて提案することとした。

(2) みどりの将来イメージについて

委員会では、新しい基本計画におけるみどりの将来をイメージするにあたり、「みどりと暮らす豊かさ」のイメージを膨らませた。例えば、生活の身近なところにみどりがあり、蝶やトンボなど多様な生物が生息している環境があることや、それにより子どもたちは日常的に自然とふれあうことができること。また、市民が各々のスタイルでみどりを生活に取り入れながら快適な暮らしを送っていることなどをみどりの将来イメージとして思い描いた。また、このようなみどりの将来イメージは、「みどりのメリット」のように明確に文章化し伝えることが難しいため、工夫が必要である。ひと昔前に「食う寝る遊ぶ」というライフスタイルを表現したキャッチコピーが流行ったが、委員会ではこれに倣い、「学ぶ」「食べる」「遊ぶ」「集う」「体を動かす」「働く」とみどりを関連付け、ライフスタイルを整理し、将来イメージとして表現することを合わせて提案した。

(1) みどりの将来イメージ

「みどりと暮らす豊かさ」が示す、松戸のみどりのライフスタイルのイメージを構想します。



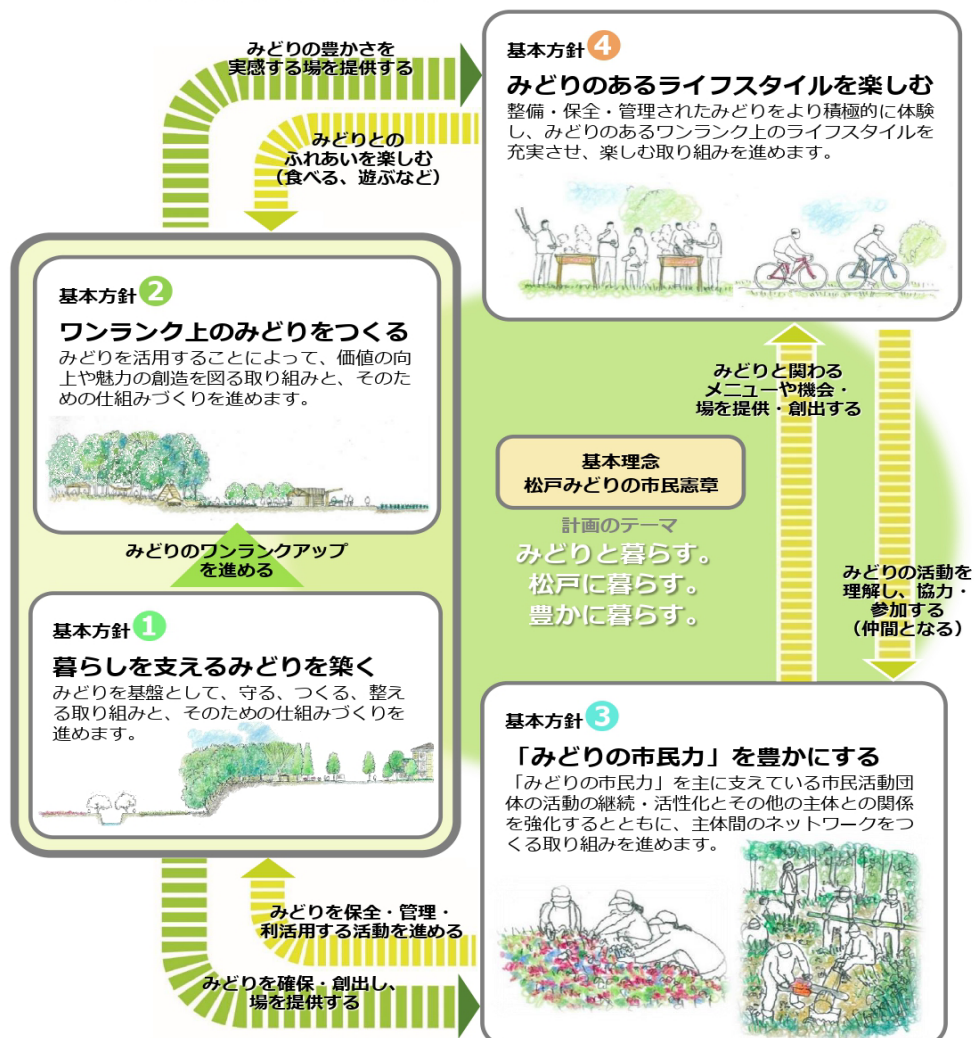
松戸のみどりの将来イメージ（松戸市みどりの基本計画（原案）より）

(3) 基本方針について

「みどりと暮らす豊かさ」を実現するための基本方針の設定について審議を行い、以下のとおり提案した。

まず一つ目に、暮らしの基盤となるみどりをしっかりと守り確保するために、みどりの保全・整備・管理の条件を定めることが重要である。二つ目に、「みどりと暮らす豊かさ」をより高めていくために、確保されたみどりの機能やポテンシャルを最大限に生かし、みどりの価値を上げることが必要となる。また、未だ知られていない新しい価値を見出し、ワンランク上のみどりの創出を図りたい。三つ目に、本市の財産である「みどりの市民力」は「みどりと暮らす豊かさ」を実現するための大きな推進力となる。今後は、他の活動団体との関係づくりや事業者との連携を図り、新たな仲間を増やし「みどりの市民力」をより豊かに持続可能な活動にしていく必要がある。四つ目に、これまでみどりには関心がなかった市民が、みどりの価値に気づき、みどりと暮らすワンランク上のライフスタイルを楽しむ人を増やしていきたい。新たなみどりの協力者や理解者という裾野を広げていくことが重要になる。

以上4つの基本方針の要点は、一つ一つを明確に位置づけ、また、それぞれが相互に関連しあい循環して緑の施策が遂行されていくことが、計画の目標を実現するために最も重要な点である。



各基本方針に基づくみどりの施策の関係図（松戸市みどりの基本計画（原案）より）

基本方針についての意見は、以下のとおりである。

① 基本方針1 暮らしを支えるみどりを築く

- ・利用されていない身近な公園の利用促進を図るため、地域住民のニーズに対応できる公園の機能再編、ストック活用のプランづくりを進めたい。
- ・民有樹林地は、所有者にとって日常の管理にかかる作業や費用、相続税、周辺住民への対応など様々な問題があり、所有し続けることが難しくなっている。残すための支援や仕組みが欲しい。
- ・市民アンケートの結果からも分かるように、街路樹への関心は良くも悪くも高い。市内には老木化している街路樹も多く、今後の管理や更新等の方針を定める必要がある。有識者等を交えた専門部会を設置し街路樹の植栽・管理ガイドライン等の作成を強く要望する。安心して歩ける場所がたくさんあるということは、健康づくりやまちへの愛着心が高まることにつながる。「歩きたくなるまちづくり」を目指して街路樹を重点プロジェクトに位置づけたい。
- ・都市における農地は、新鮮な食物を供給してくれる「食」という豊かさを与えてくれるだけでなく、農作業の体験を通じて多くのことを学び、また、収穫を楽しむ観光農園など、多様な機能を持つ貴重なみどりである。宅地化により農地を維持することが難しく減少の一途をたどっているが、農地の必要性や利用価値を見直し保全されることを望む。
- ・松戸市は今でもなお宅地開発が続いており、これによりみどりが減少することは否めない。しかし、このタイミングを好機と捉え開発行為時により質の高いみどりを創出する姿勢を計画の中に打ち出したい。

② 基本方針2 ワンランク上のみどりをつくる

- ・公園をまちの中でどのような位置づけで利用し、まち全体を活性化させるのか、住民とともに考えることが重要。管理作業にとどまらず、公園の運営や、「みんなで公園を良くしていこう」という魅力アッププランづくりをぜひ進めたい。また、これからは、地区の中で公園の活性化の動きが始まり、その動きを行政がサポートするボトムアップの仕組みがあっても良いと考える。
- ・農地や樹林地、公園等には多様な生き物が生息している「豊かさ」がある。生物多様性地域戦略をどうするかではなく、在来の自然をベースに生物多様性を確保し、その重要性や、生きものを生活の中で楽しむ視点から記載したい。
- ・ボランティアが保全管理活動に携わり一般に公開される樹林地は、他の樹林地よりも公益性が高いと考える。このような民有樹林地については保全のために森林環境譲与税を充てるなどの支援を望む。民有樹林地を支援するにあたり、樹林地台帳の整備、民有樹林地へ樹林地評価システムの構築、保全に関する財源の確保など、新しい制度の展開が今後の議論になると考える。松戸の良さを生かした制度を望む。
- ・事業所の緑地はこれまであまり取り上げられてこなかったが、働く環境の整備や地域の生活環境の向上のために緑地を良好に管理する事業所も多く存在している。事業所の緑地を市民に開放するなど、社会貢献を促す仕組みが欲しい。
- ・開発事業に伴いつくられた緑地の質を向上させるため、民有地の緑化支援に力を入れたい。例えば、「みどりの支援制度」では「つくる」ための支援、「みどりの



評価認定制度」では創出された緑地を評価・表彰・認証し担保性や継続性を高めるための支援。うまく循環する仕組みができると良い。

③基本方針3「みどりの市民力」を豊かにする

- ・「みどりの市民力」はこれまで市内全域に広がりを見せてきたが、メンバーの高齢化により継続が難しくなる等の課題があり、新たな仲間づくりがキーワードとなる。また、活動についての知名度が低いため、積極的なPRや活動の奨励を行っていくことが必要である。
- ・人材育成をする際には、本気度を上げるためにも、活動のメリットやゴールを明確にすることが重要となる。また、人材の発掘は、各々の才能が自ずと生まれるような雰囲気をつくり、それらが膨らんでいく成長過程を見守ることも必要である。
- ・みどりの保全や維持管理をするための活動や人材に限定することなく、ちょっとしたサポートから始まり、楽しく活動を続けていたらいつの間にかスキルが身についていたというような人材育成の方法も一つである。また、ネイチャーゲーム等森で楽しむ方法を熟知している人もおり、多様な特技を持った人材の発掘をすることも「みどりの市民力」を豊かにする方法である。
- ・本市の市民活動の資産の蓄積はかなり大きく、様々な団体の活動をつなぎ合わせることで新たな事業展開が期待できる。団体同士が親睦・交流・相互理解を深めることも必要だが、つなぎ合わせる有能なコーディネータ的な役割をする人材や運営主体をつくるのが大事なポイントとなる。
- ・活動を継続するための地盤を固め、担保性を高めることを強く要望する。

④基本方針4みどりのあるライフスタイルを楽しむ

- ・森が好き、お花が好き、窓から眺めるみどりが好き、キャンプが好きなど、市民がそれぞれみどりの価値を感じ楽しめる、多様な提案をしたい。
- ・「農」が身近に残っていることが、松戸の魅力の一つであり、自然のサイクルの中で作物を育て収穫し、食べて生かされていることが学べる場である。子どもたちに、このような自然の恵みをもっと積極的に伝えていきたい。
- ・学校では、理科の授業でアサガオやミニトマトを育てている。これを発展させ展示会などとリンクさせる。また、「子ども緑推進委員」をつくり、市から草花の苗を提供し花壇に植え付けをするなど、みどりに対する意識を高めたい。
- ・オープンフォレスト等では、子どもたちが大喜びで木登り等の冒険遊びをしている。子どもたちが安心して遊ぶことができるよう、責任を持って見守ってくれる人がいるということが重要。
- ・市内には古い工業団地や企業が多く、その中には成熟したみどりがある。働くこととみどりとの関係も、ライフスタイルを楽しむ大切な要素。
- ・本市のみどりに関わる取り組みや、「みどりの市民力」の活動の認知度は想像以上に低い。プロモーションで成果を上げるには、目指すビジョンとターゲットを明確にして戦略的に行わなければならない。また、これからはプロモーションビデオなどの動画配信が主流になり、本腰を入れて取り掛かる必要がある。
- ・みどりを大切にする気持ちを育むため、植樹祭を提案する。関わった市民が、新しい「みどりの市民力」になることを期待する。
- ・これまでは、みどりの情報を個々に発信していたが、認知度が上がらない。本市

のみどりの情報をひとまとめにし、市民が見て楽しい面白いと思えるハンドブックの作成を提案する。

⑤ その他の意見

- ・競争力を高め、「選ばれる松戸」よりも「訪れたいまち」や「住み続けたいと思えるまち、オンリーワンの松戸」を目指したい。
- ・平成 27 年度に閣議決定された国土形成計画や第 4 次社会資本整備重点計画に、グリーンインフラの取組みの推進について盛り込まれたことから、新たな基本計画においてもグリーンインフラを明確に位置付ける必要がある。また、今般災害リスクの高まりを感じる中で、災害からのレジリエンスを高めることは重要視すべき点である。みどりが持つ多様な機能を賢く、より有効的に利用することがグリーンインフラの取組みであり、基本計画全体に通底する基本的な考え方である。よって、グリーンインフラの概念のもと、松戸市の「みどりの資産」を形成し、積極的な利活用を図り、みどりを後世に継承していくビジョンを計画に掲げたい。また、グリーンインフラの役割と各施策との関連が分かるように整理し表現したい。
- ・計画は 20 年間の長期計画で 10 年後に見直しを予定しているが、計画の実効性を高めるために 5 年後に一度見直しを行う必要がある。また、重点施策には、各々目標指標を定めているが、計画を推進した結果、「みどりの将来イメージ」の実現につながる成果が上がっていることを確認できるように、4 つの基本方針それぞれに目標指標を設けることを提案する。
- ・基本計画を市民が通読し計画の意図を理解してもらうのは現実には難しい。手に取って読んでもらえるように、広告代理店がつくるようなデザイン性の高いスタイルブックやコンセプトブックのような概要版（A4 見開き 8 頁程度）や、「子どもみどりの基本計画」の作成を提案する。

## 2.1.2 「みどりの市民力」について（みどりのサロン部会の活動）

市内外で高い評価を受けている「みどりの市民力」は、計画を実現する推進力として新たな基本計画において大きな位置づけになると考え、「みどりの市民力」の活動が多方面につながり、持続可能な新しい展開が期待できるようなイメージを模索するため、緑推進委員会の承認を得て、委員の有志により「みどりのサロン部会」を立ち上げた。

まず、「みどりのサロン部会」では、現状を把握するために活動団体の意見聴取を行い、次に団体同士の交流会を開催した。そこで把握した意見の計画への反映のさせ方を検討するとともに、「みどりの市民力」の活動の新しい展開のイメージづくりを行った。

### (1) みどりに関わる活動団体への意見聴取と結果

#### ① 対象団体について

多種多様な活動団体のネットワーク化の可能性等、新しい展開を探ることが目的となるため、直接的にみどりの保全や管理を行っている団体に加えて、公園等のみどりを利活用している子ども・子育て団体やイベントの企画運営団体、また、地域のコミュニティの中で様々な活動を行っている千葉大学みどりの回廊ワーキンググループなど、活動分野の幅を広げて対象団体を選定した。

## ②意見聴取について

活動団体の生の声を聴き、現在の活動状況や課題を把握するため、団体の活動の目的、活動が続けられている理由、継続が困難となる理由、仲間集めの方法、行政に対する要望などについて意見を徴取した。方法は、個別にヒアリングを行うことも検討したが、効率良く多くの団体の意見を集めるために、調査票の配付によるアンケート形式とした。

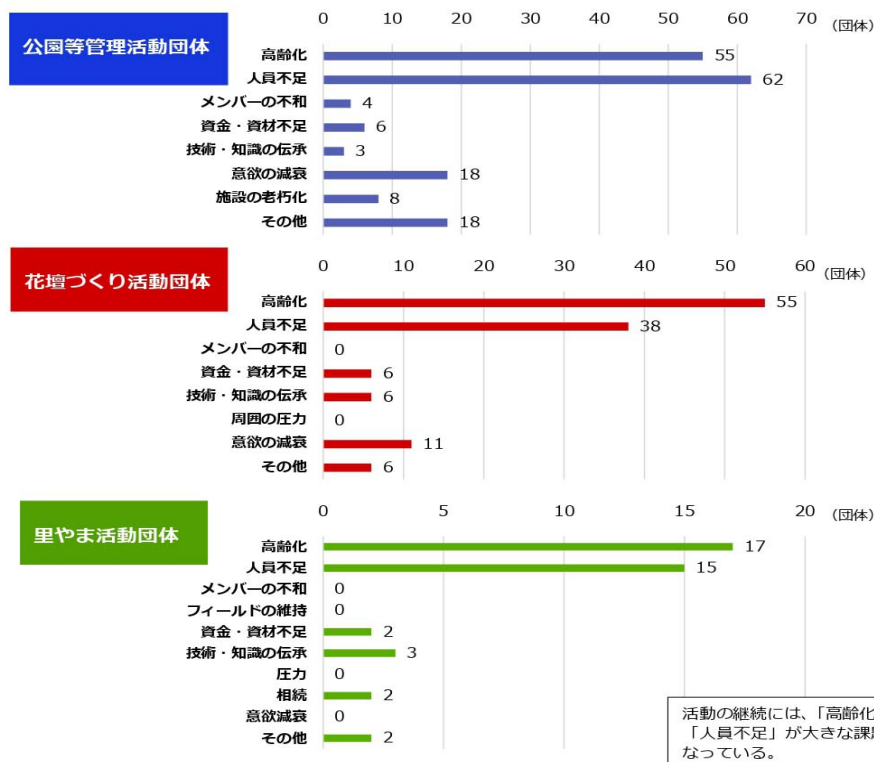
## ③アンケート結果

アンケートは、平成31年2月から5月にかけて257団体に調査票を配付し196団体の回答を得た。

アンケートの結果から、主に「同じ目的を持つ仲間がいることは、活動の継続に重要であること」、「地域の人々から感謝やねぎらいの言葉などの声掛けがあることが大きな喜び、励みとなっていること」、一方で「高齢化や人員不足など活動の継続を困難にする課題もあること」が分かった。また、「他のジャンルの団体と新しい活動をしたいか」については、前向きな意見を聴くこともできた。

### アンケート配付・回収状況

| 団体名                 | 配付数 | 回収数 | 回収率   |
|---------------------|-----|-----|-------|
| 里やま活動団体             | 18  | 18  | 100%  |
| 公園等管理活動団体           | 120 | 94  | 78.3% |
| 花壇づくり活動団体           | 97  | 71  | 73.2% |
| みどり利活用団体            | 15  | 7   | 46.7% |
| 千葉大学みどりの回廊ワーキンググループ | 7   | 6   | 85.7% |
| 合計                  | 257 | 196 | 76.3% |



活動の継続を困難にしている事から・理由 (出典：H30年度 市民活動団体アンケート)

## (2) 松戸みどりのフォーラム

活動団体へのアンケート調査で活動の状況や課題、今後の展望などを伺い現状を把握した次のステップとして、活動団体の相互理解を深めることと、その交流から起こるイノベーションを期待し、緑推進委員会と松戸市の共催で令和元年6月29日に「松戸みどりのフォーラム」を開催した。市内で活動している団体と千葉大学のグループを合わせ、合計22団体、70名が参加。パネルやポスターを展示し、コミュニケーションを図り、活動団体の紹介発表とあわせて、策定中の基本計画についての説明を行った。参加した千葉大学の学生からは、「スキル・世代・活動内容の異なる団体が集まることで新しいアイデアが生まれる」「出会いは新たな活動のモチベーションにつながる」「地域の人とのコミュニケーションを通じて仲間意識が芽生える」などの感想がありとても有意義なフォーラムとなった。

また、柳井会長の総括では、「基本計画をつくっても、実現させなければ意味がない」「市民力をパワーアップするためにも、市民活動のプラットフォーム的な機能が欲しい」との話があった。

### 松戸みどりのフォーラム

●開催日時 令和元年6月29日(土) 13:00~16:30

●開催場所 千葉大学園芸学部創立100周年記念館

#### ●プログラム

##### ①コミュニケーションタイム

会場内に展示した各団体の紹介パネルやチラシを見ながらの自由時間

##### ②千葉大学「みどりの回廊ワーキンググループ」の活動発表(5団体)

##### ③「松戸市みどりの基本計画」についての説明(みどりと花の課)

##### ④市民活動団体の発表(11団体)

##### ⑤今日の感想

##### ⑥松戸市緑推進委員会会長 総括

#### 参加団体

- ・千葉大学「みどりの回廊ワーキンググループ」
- ・聖徳大学(パネル展示)
- ・里やま保全活動団体
- ・花壇づくり活動団体
- ・公園管理等活動団体
- ・みどり活用団体

計26団体 70名参加



千葉大学学生の発表



各団体の発表



柳井会長の総括



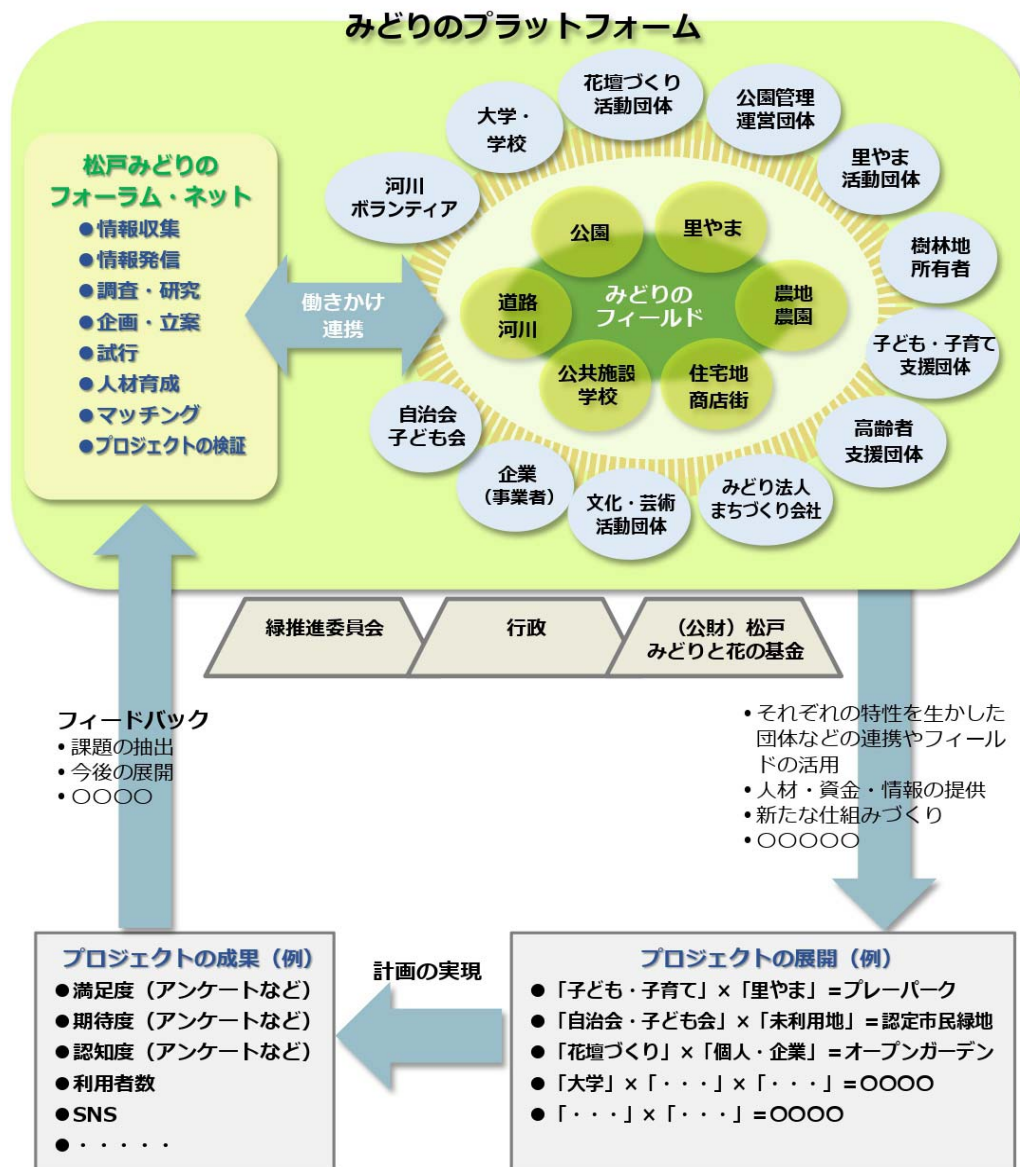
コミュニケーションタイムの風景(パネルを見る人や活動団体と学生などの交流)

(3) 「みどりの市民力」の展望について ～イノベーションを起こす～

みどりのサロン部会の活動を通じて浮き上がってきた課題や各団体の意見を踏まえ、「ひと・みどり・まちをつなぐプラットフォーム」の構築を提案した。（下図参照）

多種多様な主体が持っているポテンシャルを引き出しつつ、総合的にコーディネートすることにより、様々なプロジェクトが展開され、その成果をフィードバックし次のプロジェクトにつなげていく体系のイメージである。特に、コーディネートするための情報収集や情報発信が重要となり、各種活動団体及び幅広い市民に対してプロモーションを積極的に展開することがポイントとなっている。

ひと・みどり・まちをつなぐみどりのプラットフォームは、「みどりの市民力」の活動の担保性を高め、イノベーションが起こり、より大きな効果を発揮する役割を担うことを期待している。「みどりの市民力」の活動は、基本計画を実現するための大きな推進力であることから、引き続き委員会において「ひと・みどり・まちをつなぐプラットフォーム」の構築及びその運用について検討していきたい。



ひと・みどり・まちをつなぐみどりのプラットフォームのイメージ（松戸市みどりの基本計画（原案）より）

## 2.2 その他の関連する活動

委員会では、諮問等による審議の他に、「みどりの市民憲章」の実現に向けての取り組みとして、市民と行政の協働の場である「みどりの行動会議」等を通じて、様々なみどりの活動を推進・支援している。（資料編参照）

### 2.2.1 緑と花のフェスティバルへの参加

平成 31 年 4 月 29 日に開催された「緑と花のフェスティバル」に参加し、みどりのスタンプラリーやパネル展示を通じて、平成 16 年 10 月に制定された「松戸みどりの市民憲章」の広報と普及を行った。また、基本計画の策定に際し、千葉大学の学生の協力のもとアンケート調査を実施した。

アンケート調査結果「みどりと過ごしたいこんな時間」

| 区分        | ピクニックやカフェで  | 木陰でゆっくり心地よく  | 音楽やアートに触れて  | アスレチックや冒険遊びで | 食や農を体験して    | 健康づくりのために   | 大切な日に大切な人と | ペットと一緒に     | 計             |
|-----------|-------------|--------------|-------------|--------------|-------------|-------------|------------|-------------|---------------|
| 大人（一般）    | 30<br>18.9% | 37<br>23.3%  | 18<br>11.3% | 24<br>15.1%  | 23<br>14.5% | 17<br>10.7% | 2<br>1.3%  | 8<br>5.0%   | 159<br>100.0% |
| 大人（子ども連れ） | 26<br>17.0% | 31<br>20.3%  | 20<br>13.1% | 30<br>19.6%  | 21<br>13.7% | 9<br>5.9%   | 8<br>5.2%  | 8<br>5.2%   | 153<br>100.0% |
| 子ども       | 6<br>2.2%   | 36<br>13.1%  | 22<br>8.0%  | 140<br>50.9% | 25<br>9.1%  | 10<br>3.6%  | 6<br>2.2%  | 30<br>10.9% | 275<br>100.0% |
| 計         | 62<br>10.6% | 104<br>17.7% | 60<br>10.2% | 194<br>33.0% | 69<br>11.8% | 36<br>6.1%  | 16<br>2.7% | 46<br>7.8%  | 587<br>100.0% |



アンケートボード



ハンモック遊び



活動紹介 パネル展示



緑推進委員会テント

※緑と花のフェスティバルには、「緑のネットワーク・まつど」と「松戸里やま応援団」のご協力をいただき、現緑推進委員とそのOBが参加しています。「みどりのスタンプラリー」は、ハンモックや丸太わりなどの遊びを通じて、「みどりと暮らす豊かさ」を感じてもらおう取り組みです。

## 2.2.2 みどりの行動会議

みどりの行動会議は、松戸みどりの市民憲章の制定を機に、その普及・啓発と憲章の精神を反映した具体的な行動を推進するために、市民と行政の協働の場として設立された。過去には、「木に名札を付けよう」（平成 17～18 年度）、「みどりのマップを作成しよう」（平成 19～20 年度）などを実施している。平成 25 年度からは、みどりの市民憲章「子どもたちの夢とあそびを受けとめるみどりをいっぱいにします。」をテーマに、里やまボランティアの皆さんの協力を得て、樹林地の保全活動で生じる伐採した竹を七夕用の竹として、希望する放課後児童クラブ等へ配布する「七夕プロジェクト」に取り組んでおり、好評を得ている。また、平成 21 年度より実施している「みどりを訪ねて歩いてみよう～松戸のみどり 再発見ツアー」の後援や、平成 25 年度からは「子どもの国プロジェクト」として野菊野子ども館が開催する催しの中で、竹の工作体験の協力も行っている。なお、「松戸のみどり再発見ツアー」を主催している「緑のネットワーク・まつど」は、平成 12 年からはじまった身近な緑の保全活動が評価され、平成 30 年 5 月に第 29 回「みどりの愛護」功労者国土交通大臣表彰を受賞している。



松戸のみどり再発見ツアー



七夕プロジェクト

## 2.2.3 松戸花壇づくりネットワークの活動

花壇づくりネットワークは、第 2 期緑推進委員会の『パートナーシップによる緑の育成管理方策検討部会』の提言をきっかけに、団体同士の情報交換やお互いをサポートしあう人的交流を図ることを目的に平成 16 年 7 月に発足した。

平成 18 年からは、緑と花のフェスティバルに参加するなど、本委員会と密接な協力体制を築きつつ、平成 19 年から 22 年まで東松戸ゆいの花公園の花壇づくり、また、平成 25 年の市制 70 周年時には記念事業の一環として庁舎前花壇の維持管理活動を行っている。庁舎前花壇の活動は現在も継続しており、植え替え毎にその時々の特ピックスをモチーフにするなどデザインを凝らし、来庁する市民の目を楽しませている。

定期的に月 1 回の連絡会を開き、種から草花を育て公共の花壇等に利用する活動や、市内の花壇見学会及び他市へ視察会を実施するなど新しい情報の収集や交流活動に取り組んでいる。

このような長年にわたる活動の功績が評価され、平成 27 年に第 26 回「みどりの愛護」功労者国土交通大臣表彰を受賞した。また、平成 29 年からは、金ヶ作育苗圃にて「花づくり体験講座」を開き、新しい仲間づくりを始めるなど、今もなお積極的な活動の展開を試みている。



花づくり体験講座



緑と花のフェスティバルへの参加

#### 2.2.4 里やまボランティア入門講座

「これ以上みどりを減らしたくない」「次の世代に良好な自然環境を引き継ぎたい」という思いを市民、森の所有者、行政が共有する中で、第2期緑推進委員会における樹林地保全部会の発案により、平成15年度に第1回「里やまボランティア入門講座」が実施され、その修了生が「松戸里やま応援団 一起の会」を立ち上げ、以降松戸市の里山活動が活発になっていった。「里やまボランティア入門講座」は毎年行われており、令和2年6月現在で、この講座を修了した14グループ（約200名）が「松戸里やま応援団」として、所有者の理解と協力のもと森で活動をしている。なお「里やまボランティア入門講座」の特色には以下の事項が挙げられる。

- (1) オリジナルの講座プログラムがあり、市民、行政、中間組織の3者協働で開講されている。
- (2) 講座修了生が、自主的に団体を組織して活動を開始している。
- (3) 修了者による団体が「松戸里やま応援団」としてネットワークを結成し、互助のコミュニティを結成している。
- (4) 人員のスキルアップ（管理・安全・生態・制度など）を図るための「ステップアップ講座」や新規団体の活動始動支援のための「フォローアップ講座」が里やま応援団を主体として開講されている。
- (5) 活動場所は公有地ではなく、民有の樹林地である（一部公園を含む）。
- (6) 講座修了生が、新たな緑の担い手育成の主体として携わっている。



グループワーク



森の作業体験



## 2.2.5 オープンフォレスト in 松戸の推進・支援

「個人の庭を公開するオープンガーデンがあるなら、森を公開するオープンフォレストもどうだろうか？」という緑推進委員のアイデアを受け、平成 24 年度から「オープンフォレスト in 松戸」が始まり、里山活動をするグループが、それぞれの森（一部公園を含む）で工夫を凝らして森を公開している。毎年春に行われるこの催しには各森合計で 2,000 人以上のお客様をお迎えしており、身近な緑の大切さに目を向け、都市部に残された森の価値を理解してもらう大変有意義な機会となっている。委員会では毎年このイベントに対し後援を行っている。

なお、本イベントを主催する「オープンフォレスト in 松戸実行委員会」は、本イベントの趣旨とその活動内容が評価され、平成 28 年に第 27 回「みどりの愛護」功労者国土交通大臣表彰を受賞している。（同じく平成 28 年には、公園の活性化において市民と行政の協働事業が大きな成果をあげている「根木内歴史公園サポーター根っ子の会」も同賞を受賞している。）

都市部における樹林地の保全については、相続や担い手不足による樹林地の喪失が進んでおり、未だ解決策は見出せていないのが実情であり、本委員会としては「オープンフォレスト in 松戸」の支援に合わせ、樹林地が世代間の交流や、異なる活動間の交流などに利用され、また地域のコミュニティの場として機能することで価値を高めていく施策を推進することが必要と考えている。また、所有者が森を所有し続けられるよう、樹林地保全評価システムの構築や管理支援の拡充、新たな価値の創造など、フォレストマネジメントの仕組みづくりを進めることが大きなテーマとなる。



オープンフォレスト



オープンフォレスト 森ヨガ

※なお、令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染症の蔓延防止のため、3 月～6 月に開催を予定していたイベントは中止となった。

### 3. 第11期委員会へ引き継ぐ課題

#### 3.1 「松戸市みどりの基本計画」の推進に向けて

委員会では、基本計画の策定に向けて審議を行い、様々な提案をしてきたが、今後この計画を机上論で終わらせるのではなく、みどりと暮らす豊かさが感じられる街を実現させていかなければならない。

よって第10期委員会からは、計画実現に向けて以下の3つ課題を挙げ、第11期委員会において更なる議論を期待したい。

##### ① 「松戸市みどりの基本計画」の策定について

基本計画の策定については、今後議会への説明やパブリックコメントにおいて様々な意見が寄せられることが考えられることから、引き続き委員会の立場で市民の声に耳を傾け、より良い基本計画の策定に向けた議論が必要と考える。

##### ② 「みどりの市民力」の発展について

基本計画の実現するための推進力として大いに期待される「みどりの市民力」については、第10期委員会においても「みどりのサロン部会」を設置し調査・検討を行ってきた。「みどりの市民力」をリードしてきた市民活動については、これまで培ってきた資産（活動とその成果）の蓄積は想像以上に大きく、様々なプロジェクトが展開できる可能性があることが分かった。一方、高齢化や後継者不足など活動の継続についての不安や、他分野の活動団体や企業との連携等の課題があることが明らかになっており、「みどりの市民力」による活動が持続可能で担保性の高い活動となり、今以上に推進力を発揮できることを期待して「ひと・みどり・まちをつなぐみどりのプラットフォーム」についての議論が必要と考える。

なお、プラットフォームの議論にあたっては、これまでのみどりの市民憲章の実現に向けて活動してきた「みどりの行動会議」と目的が重複することが考えられることから、「みどりの行動会議」との関係性も含めて議論する必要がある。

##### ③ みどりのシティプロモーションについて

みどりのシティプロモーションについては、基本計画策定に向け委員会の中でも活発な議論があったが、松戸のみどりが日々の生活にどれほどの豊かさをもたらしているのかを見える化し発信することの重要性は明らかであり、引き続き、積極的かつ効果的なみどりのシティプロモーションについての議論が必要である。

## 4. 参考資料

- 資料 1 第 10 期松戸市緑推進委員会委員名簿
- 資料 2 第 10 期松戸市緑推進委員会の開催概要
- 資料 3 本委員会以外での委員としての活動記録
- 資料 4 松戸市緑推進委員会の活動模式図
- 資料 5 みどりの現場の視察
- 資料 6 基本計画意見整理表
- 資料 7 みどりのサロン部会委員名簿
- 資料 8 みどりのサロン部会活動概要
- 資料 9 みどりの市民活動に関するアンケート結果
- 資料 10 松戸みどりのフォーラム関連資料
- 資料 11 松戸花壇づくりネットワークの活動
- 資料 12 里やまボランティア入門講座関連資料
- 資料 13 オープンフォレスト in 松戸関連資料
- 資料 14 「松戸のみどり再発見ツアー」開催一覧

※資料 6. 9. 11. 12. 13. 14 は掲載省略。

## ■ 第 10 期松戸市緑推進委員会委員名簿

| 役職   | 氏名    | 所属等   |
|------|-------|---|
| 会長   | 柳井 重人 | 千葉大学大学院園芸学研究科准教授                              |
| 会長代理 | 木下 剛  | 千葉大学大学院園芸学研究科准教授                              |
| 委員   | 平岡 考  | (公財)山階鳥類研究所事務局<br>広報コミュニケーションディレクター兼自然誌研究室専門員 |
| 委員   | 小谷 幸司 | 日本大学生物資源科学科<br>くらしの生物学科教授                     |
| 委員   | 高橋 清  | 河南環境美化の会会長                                    |
| 委員   | 高橋 盛男 | 緑のネットワーク・まつど副代表                               |
| 委員   | 真嶋 好博 | 千葉県樹木医会                                       |
| 委員   | 小嶋 功  | 松戸ふるさと森の会会長                                   |
| 委員   | 石川 静枝 | NPO 法人さんま代表                                   |
| 委員   | 上野 義介 | 公募による市民                                       |
| 委員   | 高橋 節  | 公募による市民                                       |
| 委員   | 藤田 隆  | 公募による市民                                       |
| 委員   | 森 令子  | 公募による市民                                       |
| 委員   | 横山 元  | 公募による市民                                       |

## ■ 第 10 期松戸市緑推進委員会の開催概要

| 委員会    | 開催日                     | 主な内容  |
|--------|-------------------------|---|
| 委嘱式    | 平成 30 年<br>7 月 31 日(火)  | ・松戸市長より各委員へ委嘱状の交付   |
| 第 1 回  | 平成 30 年<br>7 月 31 日(火)  | ・これまでの委員会の主な活動について<br>・松戸市緑の基本計画の策定について（諮問）<br>・第 9 期委員会より引き継ぐ事項及び委員会で検討すべき事項について   |
| 第 2 回  | 平成 30 年<br>10 月 19 日(金) | ・緑の基本計画策定体制とスケジュール<br>・アンケート調査の実施について<br>・基本計画の方向性について  |
| 第 3 回  | 平成 30 年<br>11 月 16 日(金) | ・市内のみどり現場視察<br>矢切の農地、矢切斜面林、国分川、市民農園街路樹、金ケ作公園、ひまわり公園、囲いやまの森、金ケ作育苗圃ほか   |
| 第 4 回  | 平成 30 年<br>12 月 21 日(金) | ・視察会のふりかえり<br>・みどりのサロン部会の報告<br>・計画の方向性について<br>・モリヒロフェスタ開催報告   |
| 第 5 回  | 平成 31 年<br>1 月 25 日(金)  | ・市民アンケートの結果（速報版）について<br>・みどりのサロン部会の報告<br>・計画の骨子案について<br>・第 8 回オープンフォレスト in 松戸の後援について  |
| 第 6 回  | 平成 31 年<br>3 月 27 日(水)  | ・骨子の骨子案について<br>・みどりのサロン部会の報告<br>・緑と花のフェスティバル 2019 の参加について   |
| 第 7 回  | 令和元年<br>5 月 17 日(金)     | ・市民活動団体アンケート結果について<br>・松戸みどりのフォーラムについて<br>・計画の構成について<br>・第 8 回オープンフォレスト in 松戸の報告<br>・松戸モリヒロフェスタ～子供の王国の報告<br>・緑と花のフェスティバル 2019 の報告 |
| 第 8 回  | 令和元年<br>8 月 6 日(火)      | ・市民活動団体のアンケート結果について<br>・松戸ふるさと森の会からの意見書について<br>・松戸みどりのフォーラムのふりかえり<br>・みどりのサロン部会の報告<br>・基本方針 3.4 について<br>・七夕プロジェクトの報告              |
| 第 9 回  | 令和元年<br>9 月 27 日(金)     | ・基本方針 1.2 について<br>・みどりのサロン部会の報告   |
| 第 10 回 | 令和元年<br>11 月 15 日(金)    | ・基本方針 3.4 について<br>・みどりのサロン部会の報告<br>・里やま入門講座 2019 の報告<br>・松戸アートピクニックの報告  |
| 第 11 回 | 令和元年<br>12 月 26 日(木)    | ・原案（案）について<br>・里やま入門講座 2019 の実施報告<br>・松戸アートピクニックの開催報告   |
| 第 12 回 | 令和 2 年<br>2 月 26 日(水)   | ・原案（案）について<br>・緑と花のフェスティバル 2020 の参加について<br>・第 9 回オープンフォレスト in 松戸の後援について   |
| 第 13 回 | 令和 2 年<br>6 月 29 日（月）   | ・第 10 期緑推進委員会の活動報告と提言について<br>・市長への報告  |

### ■ 本委員会以外での委員としての主な活動記録（部会、催し等）

| 活動名称<br>(活動団体名称)                | 開催日                                    | 主な内容  |
|---------------------------------|--|---|
| みどりの行動会議                        | 平成 30 年<br>7 月 23 日 (月)                | ・七タプロジェクトの報告<br>・夏休み竹細工教室についての打合せ   |
| 竹細工教室                           | 平成 30 年<br>8 月 9 日 (木)<br>8 月 18 日 (土) | ・幸谷放課後児童クラブ (水鉄砲)<br>・上本郷第 2 放課後児童クラブ (竹ぼっくり)<br>(協力：松戸里やま応援団)                  |
| みどりの行動会議                        | 平成 31 年<br>3 月 13 日 (水)                | ・緑と花のフェスティバルについての打合せ<br>・みどりの基本計画の策定について<br>(みどりのサロン部会からの報告)                    |
| 緑と花のフェスティバル<br>(現・元委員、みどりの行動会議) | 平成 31 年<br>4 月 29 日 (祝)                | ・みどりのスタンプラリー<br>(協力：緑のネットワーク・まつど、松戸里やま応援団)                                      |
| みどりの行動会議                        | 令和元年<br>6 月 7 日 (金)                    | ・緑と花のフェスティバルのふりかえり<br>・七タプロジェクトの打合せ<br>・「松戸みどりのフォーラム」の開催について(みどりのサロン部会からの協力依頼等) |
| 七タプロジェクト<br>(みどりの行動会議)          | 令和元年<br>6 月 26 日 (水)                   | ・竹の切出し、放課後児童クラブへの配付<br>(協力：松戸里やま応援団)  |
| 松戸みどりのフォーラム                     | 令和元年<br>6 月 29 日 (土)                   | ・場所：千葉大学園芸学部「100 周年記念戸定が丘ホール」・時間：13 時～16 時 30 分                                 |
| 竹細工教室                           | 令和元年<br>8 月 6 日 (火)                    | ・幸谷放課後児童クラブ (竹ぼっくり)   |

### ■ 専門家会議の活動記録

| 活動名称   | 開催日                     | 主な内容   |
|--------|-------------------------|--|
| 専門家会議① | 平成 31 年<br>1 月 21 日 (月) | ・みどりの基本計画骨子 (たたき台) について                            |
| 専門家会議② | 平成 31 年<br>3 月 13 日 (水) | ・みどりの基本計画骨子について                                    |
| 専門家会議③ | 令和元年<br>5 月 10 日 (金)    | ・みどりの基本計画の基本方針及び施策の内容について                          |
| 専門家会議④ | 令和元年<br>9 月 6 日 (金)     | ・みどりの基本計画基本方針 1.2 に係わる施策の内容について                    |
| 専門家会議⑤ | 令和元年<br>10 月 28 日 (月)   | ・みどりの基本計画基本方針 3.4、重点施策、グリーンインフラの位置づけ、計画推進プログラムについて |
| 専門家会議⑥ | 令和 2 年<br>2 月 19 日 (水)  | ・みどりの基本計画原案 (案) について                               |

■ 松戸市緑推進委員会の活動模式図



■ 松戸市緑推進委員会 みどりの現場の視察 H30.11.16 (金) 13:00~16:40

松戸市役所→坂川親水広場→矢切斜面林→高坏橋(国分川)→ときわ市民農園→生産緑地→街路樹(さるすべり通り)→金ヶ作公園→街路樹(さくら通り)→ひまわり公園→樹林地(囲い山)→金ヶ作育苗圃→樹林地(野中の森)→松戸駅

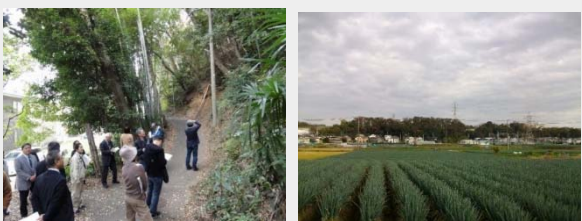
坂川親水広場 H29 リニューアル



金ヶ作公園 H27 リニューアル



矢切斜面林・矢切の農地 特別緑地保全地区



常盤平さくら通り 街路樹診断実施



国分川 高坏橋 多自然型護岸整備 桜植樹(78本)



ひまわり公園 市内の花壇愛護団体数 97 団体



市民農園・生産緑地



囲い山の森 約 2ha、H17 から里やま活動



さるすべり通り エンジュからサルスベリに変更



金ヶ作育苗圃 S49 設置、草花の生産、松戸花壇づくりネットワークの活動拠点





## ■ みどりのサロン部会委員名簿

| 役職 | 氏名    | 所属等             |
|----|-------|-----------------|
| 座長 | 高橋 盛男 | 緑のネットワーク・まつど副代表 |
| 委員 | 石川 静枝 | NPO 法人さんま代表     |
| 委員 | 上野 義介 | 公募による市民         |
| 委員 | 高橋 節  | 公募による市民         |
| 委員 | 藤田 隆  | 公募による市民         |
| 委員 | 森 令子  | 公募による市民         |
| 委員 | 横山 元  | 公募による市民         |

## ■ みどりのサロン部会活動概要

| 活動名称        | 開催日                     | 主な内容   |
|-------------|-------------------------|--|
| みどりのサロン部会①  | 平成 30 年<br>11 月 13 日(火) | ・部会の運営について<br>・意見聴取の方法と対象団体について（プレアンケート、ワークショップ、ヒアリング）                               |
| みどりのサロン部会②  | 平成 30 年<br>12 月 14 日(金) | ・アンケートの内容と対象団体について   |
| みどりのサロン部会③  | 平成 31 年<br>1 月 18 日(金)  | ・アンケート調査票（里やま活動団体用）について  |
| みどりのサロン部会④  | 平成 31 年<br>2 月 21 日(木)  | ・アンケート調査票（花壇、公園清掃団体用）について<br>・意見交換会及び緑の基本計画に関する説明会について（ポスターセッション、グループワーク等）           |
| みどりのサロン部会⑤  | 平成 31 年<br>3 月 13 日(水)  | ・アンケート調査票（みどり利活用団体用）について<br>・意見交換会について（千葉大 WG のプレゼン→緑の基本計画の説明→グループワーク）               |
| みどりのサロン部会⑥  | 平成 31 年<br>4 月 13 日(土)  | ・松戸みどりのフォーラム（意見交換会）について<br>・松戸みどりのフォーラムの参加団体について                                     |
| みどりのサロン部会⑦  | 令和元年<br>5 月 17 日(金)     | ・松戸みどりのフォーラムの開催に向けて<br>・アンケート調査票（千葉大学 WG 用）について                                      |
| みどりのサロン部会⑧  | 令和元年<br>6 月 12 日(水)     | ・松戸みどりのフォーラムの準備と当日の進行について  |
| 松戸みどりのフォーラム | 令和元年<br>6 月 29 日(土)     | ・場所：千葉大学園芸学部「100 周年記念戸定が丘ホール」<br>・時間：13 時～16 時 30 分・参加団体：26・参加人数：70<br>（協力：みどりの行動会議） |
| みどりのサロン部会⑨  | 令和元年<br>8 月 2 日(金)      | ・松戸みどりのフォーラムのふりかえり<br>・今後の検討事項について   |
| みどりのサロン部会⑩  | 令和元年<br>9 月 13 日(金)     | ・松戸みどりのフォーラムの今後の展開についての検討<br>・中間支援組織に必要な機能について                                       |
| みどりのサロン部会⑪  | 令和元年<br>11 月 5 日(火)     | ・松戸みどりのフォーラムの今後の展開についての検討  |
| みどりのサロン部会⑫  | 令和 2 年<br>1 月 9 日(木)    | ・みどりの基本計画への盛り込み方についての検討  |
| みどりのサロン部会⑬  | 令和 2 年<br>3 月 9 日(月)    | ・ひと・みどり・まちをつなぐみどりのプラットフォームについて   |

コミュニケーションタイム

(13:00~)

展示されたパネルを自由に見てもらい、各団体の活動を知ってもらうとともに、活動の担当者とのコミュニケーションを図った。



開会

(13:30~)

趣旨説明など (司会進行は高橋盛委員)



千葉大学 みどりの回廊 WG の発表

2017.6から、みどりの回廊 WGとして、7つの団体が連携しながら、通信の発行や、各団体の特徴を活かした活動を行っている。



みどりの回廊ワーキンググループ 当初は各団体がバラバラに活動していたが、現在は、それぞれの団体の活動を行いつつ、みどりの回廊ワーキンググループとして、ゆるやかなネットワークによって、協力関係を築いている。

質疑 • 環境教育の取り組みとして具体的に何をしているのか。 • 活動していて何が一番楽しいか。



戸定みんなの庭の会 市所有地を活用したコミュニティガーデン戸定みんなの庭において、年4回の花植えなど、地域住民と管理運営を行っている。



HGC (Human Green Coordinator) 年2回の環境教育の取り組みと、市内6件の高齢者宅を訪問して庭の手入れや花植えなどを目的とする訪問園芸活動を行っている。



エディブルウェイ エディブルランドスケープの実践として、松戸駅と大学の間の地域の沿道スペースに、食べられる植物を植えたプランターを設置し、安心して暮らせる環境づくりを進めている。



若瀬ハーブプロジェクト 若瀬自治会館に管理人として住みながら、近隣住民とのコミュニティの中で、ハーブづくりを通して、文化交流や世帯交流を実践している。



農園お宝発見隊 企業が主催する収穫体験イベントや農家の農作業の手伝い、水元公園の田圃の管理、松戸キャンパス内の圃場の管理を行っている。

松戸市みどりの基本計画について

(松戸市みどりと花の課 三未)

- 松戸市のみどり
• 「広報まつど」にみるみどり
• みどりの基本計画の基本方針



STUDIO MOC 空間をつかって、人が集まる「場」をつくることを理念として、21世紀の森と広場において、ドコでもシアターを企画運営している。



柳井会長の挨拶



市民活動団体の発表



STUDIO MOC 空間をつかって、人が集まる「場」をつくることを理念として、21世紀の森と広場において、ドコでもシアターを企画運営している。



松戸シティガイド 緑の回廊ツアーとして、戸定邸と千葉大学園芸学部の庭園をまわるガイド活動を行っている。



ボイスカウト千葉県連盟 市内11団体において、野外を教場としたボイスカウト活動を通して健全な青少年育成を図る活動を行っている。



NPO法人 子どもまつど 子どもの社会参加の機会の拡充を目指し、松戸里やま広場などと連携しながら、子ども自然アト体験教室などの活動を行っている。



冒険遊び場 まつどあそぼろよ 「自分の責任で自由に遊ぶ!」をモットーに、金ヶ作自然公園において、子どもたちが主体的・自主的に遊びができるプレーパーク活動を行っている。



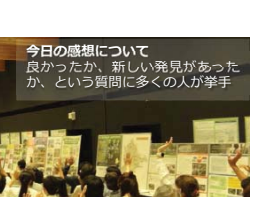
Save the Green @Akiyama 秋山の森において、森を愉しみ、森の素晴らしさを知り、森へ恩返しをするイベント・ボランティア活動を行っている。



常盤平一丁目みわりネットワーク 高齢者の見守り、声かけを目的として、ひまわり公園において、花壇づくり活動と公園清掃活動を行っている。



松戸花壇づくりネットワーク 花の愛護団体(11団体)のネットワークによって、金ヶ作育苗拠点での花苗づくり、市庁舎前花壇づくり活動などを行っている。



河南環境美化の会 地域の学校などと連携しながら、国分川の清掃活動を中心として、桜並木の維持管理などを行っている。



松戸里やま広場団 民有林をよみがえらせ、貴重な里やまを保全するために、活動を行う団体が集まり、「里やまボランティア入門講座」などを協働で運営している。



緑のネットワーク・まつど 7つの団体の連携によって発足し、市内で見たい樹林地や自然を歩く再発見ツアーなどを企画運営している。